



# ありがとう社協だより

小学校6年生児童代表が  
毎号将来の夢を発信！



10年後、成長した姿を  
地域の皆さんに発信します！

田鶴小学校6年生

## 「将来の夢」



糸我小学校6年生



本年も地域のみなさまとともに、福祉向上を目指し歩んでまいります。  
みなさまにとって、幸多き一年となりますように。

社協だよりは、「赤い羽根共同募金」配分金の一部で発行させていただいています。

次号は、  
宮原小学校から  
「夢」発信！



## 新年のご挨拶



会長 森川 文夫

新年のお慶びを申し上げます。令和になって初めての正月、心が引き締まる思いです。

去年は有田市にとって災害もなく平穏な1年だったかと思

いますが、全国的には台風19号による被害が甚大だったことは台風銀座に位置する和歌山県にとって他人事とは思えません。1日も早い復興をお祈り申し上げます。

気象災害も気がかりですが、少子高齢化が急速に進み、人口減少が顕在化してきました。和歌山県の1世帯平均構成人員は2.36人となり、核家族化や一人暮らし

世帯の増加といった状況を示しています。このような状況を背景に、地域社会においては人と人のつながりが以前と比べて希薄になり、地域の力が弱くなっています。人口減少、高齢化、人間関係の希薄化、孤立化の中で、社会生活に不自由さを感じる人が増えているように感じます。

有田市社会福祉協議会では、これらの問題を子供から高齢者、また障がいをお持ちの方を含めた地域の皆さまと共有し、年齢や状況を横断した、福祉の視点でのつながり作りや仕組み作りをしていきたいと考えています。本年も有田市社会福祉協議会を宜しく願い申し上げます。

令和2年が市民の皆様にとって素晴らしい年でありますようお祈り申し上げます。



## 「福祉」とはなにか。

有田市社会福祉協議会は、福祉教育に重きを置いて活動しています。地域の皆さんは福祉教育と聞くと、学校で子どもたちに福祉を教えることだと思われるかも知れません。しかし、私たちが考える福祉教育はそのように限定的ではありません。

過日、職員が全国福祉教育推進員研修を受講し、こんな言葉を教わりました。

### 「福祉とは、毎日の私の暮らしの中にある」

地域には、いろんな立場の方がおられます。本会は、その一人ひとりの普段の暮らしが豊かになることを目指しています。そのために、その対象は高齢者や障がいのある方という限定的なものではなく、違う立場の方が出会い、対話する場づくりを心がけています。そうすることで、お互いがいいところ、助けてほしいところ、自分にできることを共有することを目指しています。

例えば、今年度は「地域協働促進会議」として、介護・障害福祉、医療系の民間事業所と行政が一緒になって「災害時における自助」について、国の補助金を活用して探求しています。お互いの立場を理解し、共にできること、それぞれが備えることを考えています。

他にも、子育て中のお母さんが「子どもたちの安心のためにできることを考えたい」という思いを活動にできるようにサポートしています。

今年もいろんな方とご縁をいただき、多様な方が共に生きることができると地域づくりを目指します。



<地域協働促進会議>  
被災経験のある  
本宮へ視察研修

## 心配ごと相談のご案内



お話しをお聴きして、必要な情報の提供、関係機関の紹介や連絡調整などをします。ご希望があれば、相談員(民生委員)による対面相談も可能です。

窓口：電話 88-2750

受付：平日(年末年始のぞく)

8:30~17:15

なんでも  
ご相談ください



## 受賞おめでとうございます



紀の国チャレンジド賞(知事賞)

自立更生者賞

網代 定子 様

紀の国チャレンジド・サポート感謝状(知事感謝状)

更生援護功労者

吉田 稔 様

## 善意銀行だより

「社会福祉に役立ててください」と次の方々から総額169,000円の善意のご寄付をいただきました。(令和元年6月1日から令和元年11月末日まで)

### 社会福祉全般へ

- ・紀の国山草会
- ・有田市民生児童委員協議会
- ・宮原連合自治会

### NPO法人さくらんぼへ

- ・宮本有陽

### 有田市身体障がい者連合会へ

- ・森川 修

### 有田市社会福祉協議会

#### 通所介護事業へ

- ・宮本智章

(順不同、敬称略)

以上の方々のほか匿名を希望される皆様からも預託をいただきました。寄付金につきましては、地域福祉活動の推進に使用させていただきます。ありがとうございました。

## 寄付つき商品事業「JUST」 寄付金だより

本会と覚書を締結した企業から、寄付つき商品の販売によるご寄付をいただきました。寄せられた寄付金は地域福祉課題解決のための財源として使わせていただきます。誠にありがとうございました。(平成30年12月1日から令和元年11月末日まで)

- ・株式会社紀州有田蒲鉾
- ・株式会社中紀バス観光社
- ・株式会社早和果樹園
- ・足と身体の健康工房

- ・森川鉄工所
- ・有田キセキ商会
- ・有限会社匠建設

- ・古川工務店
- ・株式会社KL
- ・有限会社シマウメ

(順不同、敬称略)



## 令和元年度社会福祉協議会会費について

8月よりお願いいたしました令和元年度社会福祉協議会会費(法人・個人)に、11月末日現在、総額2,520,900円をいただき誠にありがとうございました。

納入していただいた会費につきましては、心配ごと相談事業、福祉サービス利用援助事業、ボランティア育成などに使用させていただきます。

今後もより充実したサービスを提供できるよう努力いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

また、社会福祉協議会会費の募集にあたり、各連合自治会長様をはじめ役員の皆様方に多大なるご理解とお力添えをいただき、ここに厚くお礼を申し上げます。

なお、賛助会費として下記の皆様から温かいご協力を賜りました。

- ・河原貴博司法書士・行政書士事務所
- ・株式会社富山保険事務所
- ・逢井八角網漁業生産組合
- ・医療法人共立ハートクリニック
- ・有田自動車整備協同組合
- ・株式会社近畿コンサルタント
- ・株式会社ありだ住宅情報センター
- ・有限会社メディカルサービス有田
- ・有田生コンクリート産業株式会社
- ・株式会社東亜プロパン商事
- ・大日本除虫菊株式会社紀州工場
- ・有限会社あんしんサポート
- ・学校法人ぶっとく幼稚園
- ・ライオンケミカル株式会社
- ・医療法人川島歯科クリニック

- ・株式会社紀和
- ・株式会社信和
- ・株式会社森商店
- ・有田食品株式会社
- ・株式会社保田組
- ・川口水産株式会社
- ・エム141地所
- ・株式会社ヤナセ
- ・株式会社永遠
- ・株式会社岡川建設
- ・和協会
- ・株式会社武商
- ・オズ株式会社
- ・株式会社TOA
- ・株式会社上岡工業

- ・有限会社宮原自動車
- ・日本生命保険相互会社
- ・株式会社タナベ板金
- ・株式会社オレンジライフ
- ・株式会社クリーンテック
- ・株式会社桑原工務店
- ・株式会社ユニワールド
- ・有田交通株式会社
- ・株式会社早和果樹園
- ・三菱電線工業株式会社
- ・紀州有田商工会議所
- ・株式会社サザンクロス
- ・紀伊国屋工業株式会社

(順不同、敬称略)

以上の方々のほか匿名を希望される皆様からも温かいご協力を賜りました。誠にありがとうございました。



生活支援コーディネーター レポート 3

まちの塗装屋さんによる

スペース提供 × 好きなこと 〓 地域貢献

◆ 塗装屋さんの仕事から芽ばえた想い

野地区にある株式会社亀井は、三代続く塗装屋さんです。今年、「ショールーム」を作られ、地域の方がお茶を飲みながら過ごせる場所としても活用したいとお話を伺っていました。

三代目社長の奥様は、仕事でご縁のあった高齢者と接する中で、ひとり暮らし高齢者の心配な場面に出会いました。できる範囲で声をかけたり、お手伝いしながら、地域での支え合いの必要性を感じるようになりました。亀井さんのお話の中で認知症の話題に及び、生活支援コーディネーターから、認知症を知る機会としてショールームでの「認知症サポーター養成講座」を提案し、開催されました。

お声かけください！

社会福祉協議会では、少人数でも「認知症サポーター養成講座」の出張講座に伺います！

担当 川口・木原



また、認知症支援の方法として「認知症カフェ」をご紹介しました。現在有田市内では、介護事業所や医療機関での開催が中心ですが、いろんな場所で開くことで、参加者の方も自分に合った場所を選ぶことができるお伝えしました。

◆ 「カメちゃんカフェ」を奇数月の開催でスタート

サポーター養成講座の開催後、認知症カフェとして「カメちゃんカフェ」がスタートしました。

亀井さん自身は吹奏楽を趣味にされ、音楽を通じた仲間や、医療専門職のお友達が一緒にやろうと集まってくれたそうです。

無理をしない程度に、参加者は十人程度。お喋りや音楽で、ほっこり過ごせる場をめざしています。

カメちゃんカフェ

日時：奇数月 第3木曜日 10時～12時  
場所：(株)亀井 有田市野419の3

◆ 共に創る有田市を目指して

このように「福祉」は福祉関係者だけでなく、あらゆる立場の方が、自分出来る方法で関わる事ができます。「福祉」とは「(ふ) 普段の(く) 暮らしの(し) 幸せ」であり、ひとり一人の暮らしの中にあることだからです。



◆ 地域でも福祉教育を

これまで社協だよりでレポートとしてご紹介してきたように、私たちは順次地域の方と対話し、活動を始めようとしています。これらは「地域における福祉教育の実践」です。

左記の「地域共創フォーラム」では、小中学生、高校生、大人がそれぞれの活動や思いを発表しますので、皆さんぜひお越しください。

令和元年度 地域共創フォーラム **共に創る**  
令和2年2月15日(土)  
13:30～16:00  
有田市文化福祉センター

- 地域安心お届け隊～チーム凜冽～による寸劇「一人の不安な声を地域のみんで支えるまち」
- 福祉の芽小中学生作文コンクール受賞者朗読
- 箕島高等学校生徒による活動報告
- 有田市長と地域住民・専門職による  
パネルディスカッション  
「地域の支えあいと生きがいづくり」  
話題提供/進行 摂南大学 講師 上野山裕士 氏

総合司会 和歌山大学観光学部 有田市 LIP

主催 有田市 共催 有田市社会福祉協議会 協力 箕島高等学校